

多治見市長 古川雅典 様

第7次総合計画市民委員会の議論を終えて

第7次総合計画（後期計画）の策定において、市民委員会として7回にわたり会議を重ね、きめ細かく議論しました。その中で醸成された委員会全体としての市政への思いや提案を第7次総合計画（後期計画）（案）に反映させることができたと考えております。

最終回の委員会では、各委員から市への思いや今後の市政への期待が述べられましたことを、委員会が閉会したことと併せて報告します。

令和元年 8 月 23 日

多治見市総合計画市民委員会  
会長 菊地裕幸

1 会議経過

会議	開催日	検討事項
第1回	平成31年3月13日	委嘱式、討議課題集について
第2回	〃 4月16日	討議課題集について
第3回	令和元年5月14日	基本構想（素案）について
第4回	〃 5月28日	基本計画（素案）について
第5回	〃 6月3日	基本計画（素案）について
第6回	〃 8月6日	基本構想、基本計画（原案）について
第7回	〃 8月23日	委員会総括、市長報告

## 2 今後4年間の多治見市政への期待

### (1) 市政全般について

- ・多様な市民参加の機会を設け、市民の意見を事業計画に反映しようとする姿勢が感じられました。今後も市民目線で、市民と協働した市政運営を期待します。
- ・今回の策定作業を通じて、多治見市が抱えている課題の多さを知り、市民として、「自分には何ができるのか」を考えました。市には人口減少対策など、地域や住民だけでは解決できない課題への取組みを期待します。

### (2) 地域力、人財育成について

- ・場所があるから人が集まるのではなく、活性化する人がいるから人が集まると思うので、地域で暮らす人たちを大切にしようというまちづくりを期待します。
- ・市の職員には地域に足を運び、市政や地域との接点が少ない市民も積極的に巻き込み、「共につくる」を実践していくことを望みます。
- ・まちづくりは人づくりだと思います。主体的にまちづくりに関わられるよう、市民と企業、市政、地域とを繋ぐ役割を市に期待します。
- ・市の職員、自治会、ボランティア、市民団体など、まちのために働く人同士が顔と顔を突き合わせて付き合い、同じ方向を向いて、役割分担をしながら補い合ってまちづくりを進めていくことを期待します。

### (3) 子育て、教育について

- ・子育てに対する負担、不安、孤独感がある中で、親の気持ちを前向きにする取組みが進んでいます。引き続き子育て家庭への支援の充実に期待します。
- ・人づくりにおいては教育が重要です。親が自ら育ち、学ぶ機会が増えることや、企業や地域が子どもたちに関わる機会が増えることを望みます。
- ・多治見市の子どもたちが、いろいろな分野で岐阜県の中で一番になろうと思える環境の整備に期待します。

### (4) シティプロモーション、移住定住について

- ・駅周辺の開発やコンパクトシティの形成など、老若男女が一緒に楽しめるにぎわいの場や機会の創出に期待します。
- ・一つは企業に選ばれるまち、もう一つは住む場所として選ばれるまちとなるための取組みを進め、若者が戻って来られる場がつくられることに期待します。
- ・女性が働くために必要な具体的な施策に期待します。
- ・「暑いまち」ではなく、魅力あるまちとして有名になることを期待します。
- ・多治見市は、都会も近く、産業もあり、観光資源もあり、緑も川もあります。こうした多治見市の良いところを市民が共有することを望みます。